

2010 年 APEC WLN 会合開催について

1. 目的：

APEC 女性リーダーネットワーク会合（以下 WLN という）は APEC に加盟する 21 の国と地域の産業界、学界、行政、民間団体などの女性リーダーからなるネットワークであり、男女共同参画社会の実現のために女性達の経済活動の発展に寄与することを目的として毎年 APEC 議長国で開催されている。WLN は APEC の正式組織ではないが、1996 年以降毎年 APEC と政策協議を行ってきたところである。

日本における女性の活躍は進んできたが、まだ海外に比較すると遅れており、国内及び海外での今後の活躍がさらに期待される場所である。このため日本で活躍する多くの女性リーダー達が女性の国際交流の場で他国や日本のあらゆる分野における女性の経済活動の事例に触れながら、国内及び国際的なネットワークを形成し、日本、海外の状況について理解を深めあい、さらなる女性の躍進への足掛かりの機会となることを目的として、2010 年に日本で開催される APEC 関連の会合の一つとして開催する。なお、WLN は日本で初めての開催となる。

2. テーマ：

● 2010 WLN 全体テーマ：

「女性による新たな経済活動の創造-人、自然、文化を活かす-」
 Creation of New Global Economic Activities by Women
 -Realization through people, nature and culture-

● 分科会テーマ：現在募集中。開催国の独自色が出るため今後検討の上決定。 分科会では現在の我が国の課題や経験を紹介。

(例)

- ① 起業家関連（例：「女性起業家支援」等）
- ② 人材育成、教育関連（例：「女性の学習・エンパワーメント」等）
- ③ 農山漁村関連（例：農山漁村における女性の活躍）等）
- ④ 科学技術分野関連（例：「IT 分野における女性の活躍」等）
- ⑤ 観光ビジネス関連（例：「観光業における女性と地域振興」等）
- ⑥ ケアビジネス関連（例：「ケア労働と女性」等）
- ⑦ 環境ビジネス関連（例：「環境分野における女性の活躍」等）

- ⑧ 企業関連（例：「大手企業における女性の活躍推進」、「生活者の視点で事業家一人を育て地域を育てる日本型中小企業」等）

3. 期待される成果：

- ① 経済活動に携わる女性の国内及び国際的なネットワークの形成・強化。
- ② 他国や日本の女性の経済活動の事例に触れ、ツールや経営手法などを学び合う。
- ③ 日本の状況を世界に発信することによって、日本への海外の理解を深める。
- ④ 運営に関わる団体にとっては、APEC への提言とその実施に関与すること、国際会合を運営することによって組織力を高めるなどエンパワーメントの機会となる。

これまでの WLN 開催実績

回	開催年月	開催場所	主催	テーマ	参加者
第1回	1996 10/2～4	マニラ (フィリピン)	フィリッピン 女性の役割 国会委員会 (半官半民)	持続的成長と公平な発展のためのジェンダー、貿易と投資の自由化そして経済・技術協力	15 加盟エコノミーから約 90 名出席。日本からは不参加。
第2回	1997 9/13～16	オタワール (カナダ)		APEC 地域における女性の経済的インパクト	16 加盟エコノミーから約 170 名出席。日本からは 1 名学界等から参加。
第3回	1998 9/1～2	クアラルンプール (マレーシア)	政府と女性 起業家団体の共催	ダイナミックパートナーシップと協力：持続的経済発展のための能力向上に向けて	参加者については不明。日本からは不参加。
第4回	1999 6/20～23	ウェリントン (ニュージーランド)		経済繁栄に対する女性の貢献	ほぼ全加盟エコノミーから閣僚も含め約 400 名近い出席。日本からは国会議員、学識経験者、経営者等 6 名が参加。
第5回	2000 6/20～23	バンドルスリ ブガワン (ブルネイ)	The Women's Council of Brunei Darussalam	グローバル・トレーダーとしての中小企業	19 エコノミーから約 500 名が出席。日本政府から行政官 1 名が参加。
第6回	2001 8/22～24	北京 (中国)	中華全国婦 人連合会 (半官半民)	経済グローバル化の過程におけるAPEC地域の女性の挑戦と可能性	21 エコノミーから約 400 名が出席。日本からは政府(坂東(当時)内閣府男女共同参画局長等)、組合等から計 5 名が参加。
第7回	2002 8/20～22	アカプルコ (メキシコ)		ジェンダーの視点に立った持続可能な経済発展	21 エコノミー中、14 エコノミーから約 150 名が出席。日本からは坂東(当時)内閣府男女共同参画局長はじめ政府 2 名が参加。
第8回	2003 7/31～8/3	チェンマイ (タイ)		ジェンダーと開発のためのパートナーシップ	21 カ国・地域から約 400 名が出席。日本からは大使館員、NGO が参加。
第9回	2004 9/2～10/1	ラセレナ (チリ)		女性起業家：ダイバーシティの相乗効果	参加者数については不明。

第 10 回	2005 8/24～27	テグ (韓国)	韓国女性起 業家協会 (民間)	女性起業家のための新 ビジョン:革新を通じた 女性企業の躍進	19 エコノミーから約 500 名が 出席。日本からは NGO、企業 等が参加。
第 11 回	2006 9/19～22	ハノイ (ベトナム)	ベトナム女 性 同 盟 (半官半民)	持続的発展に向けた女 性企業の競争力の強 化	18 エコノミーから約 350 名が 出席。日本からは NGO が参 加。
第 12 回	2007 6/24～27	ポートダグラ ス (豪州)	女性の地位 担当部 (政府)	我々の地域の強化と持 続可能な将来の建設に 向けて	21 エコノミーから約 400 名が 出席(別紙参照)。日本から は政府(内閣府)、NGO 等が 参加。
第 13 回	2008 5/12～14	アレキパ (ペルー)	女性・社会 開発省 (政府)	成功する女性、成功す るエコノミー	APEC エコノミーから約 300 名 が出席。日本からは政府(内 閣府)、NGO が参加。
第 14 回	2009 8/4～5	シンガポール	開発・青年・ スポーツ省 (政府)	APECにおける女性と 持続的発展	日本からは政府(内閣府)、N GO、団体が参加予定

作成日 2009 年 10 月 05 日